



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アルファポリス
 コード番号 9467 URL <http://www.alphapolis.co.jp/company/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶本 雄介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼管理部部長 (氏名) 大久保 明道

TEL 03-6277-0123

四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	783	25.7	204	△2.2	203	△2.2	144	5.6
27年3月期第1四半期	623	—	208	—	208	—	136	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	29.76	—
27年3月期第1四半期	34.12	—

(注) 1. 当社は、平成26年3月期第1四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成27年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については、記載しておりません。

2. 当社は、平成26年8月25日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、平成27年3月期第1四半期の1株当たり四半期純利益を算定しております。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	4,697	—	3,384	—	—	72.0
27年3月期	4,592	—	3,239	—	—	70.5

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 3,384百万円 27年3月期 3,239百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,421	14.6	391	0.2	390	2.2	258	3.3	53.40
通期	3,000	12.6	801	1.1	800	3.7	510	12.0	105.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	4,843,700 株	27年3月期	4,843,700 株
28年3月期1Q	— 株	27年3月期	— 株
28年3月期1Q	4,843,700 株	27年3月期1Q	4,000,000 株

(注) 当社は、平成26年8月25日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っておりますが、期末発行株式数及び期中平均株式数につきましては、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間（平成27年4月1日から平成27年6月30日まで）におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境に改善の動きが見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、当社が属する出版業界におきましては、依然として厳しい状況が続いております。平成27年6月26日には、出版取次第4位であり、創業100年近くの歴史を誇る栗田出版販売株式会社が、東京地裁へ民事再生法の適用を申請したことは、業界を騒然とさせました。

しかしながら、そのような状況に反して、「インターネット発の出版」により出版された書籍の売行きは、引続き好調に推移しており、市場の注目度も益々高まっております。

こうした環境の中、インターネット発の出版の先駆者である当社は、編集部員の強化によるインターネット発の書籍化及びその漫画化の加速に加え、インターネット上に点在する良質なコンテンツの更なる確保にむけ、当社Webサイトを細やかに更新することにより、ユーザーにとってより利便性の高いサイト作りに積極的に取り組んでまいりました。加えて、平成27年7月3日からTVアニメ放送されております当社主力書籍『ゲート』を盛り上げるべく、著者であります柳井たくみ氏のサイン会や、コミックスの原画展等のイベントを開催してまいりました。

これらの活動の結果、当第1四半期累計期間における、出版点数は91点（前年同期比15点増）、新規Web連載漫画本数は9本（同4本増）、及びWebコンテンツ登録数は1,717点（同891点増）となりました。また、『ゲート』シリーズ累計発行部数は200万部を突破し、ついに240万部（平成27年6月22日時点）となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は783,403千円、営業利益は204,059千円、経常利益は203,763千円、四半期純利益は144,129千円となりました。

なお、書籍のジャンル別の概況は以下の通りであります。

①ライトノベル

通常、書籍の返本は出荷日から2、3ヶ月経過した後に最も多く発生いたします。当第1四半期累計期間では、過去最大の出荷高となった前第4四半期会計期間において出荷した書籍の返本が多く発生いたしました。その結果、当第1四半期累計期間の売上高は前年同期を下回る結果となりました。なお、当該返品の割合（以下、「返品率」という。）は、通常月の返品率とほぼ同様の水準であります。

②漫画

当社主力書籍『ゲート』のTVアニメ化に伴い、関連書籍の売行きが好調に推移したことを主な要因として、当第1四半期累計期間の売上高は前年同期を大きく上回る結果となりました。また、『ゲート』以外の売行きも堅調であり、当第1四半期会計期間に新たに刊行した『とあるおっさんのVRMMO活動記』は3刷、発行部数3万部、『物語の中の人』も3刷、発行部数2.6万部（平成27年7月31日時点）となるヒット作品に成長しております。

Web連載漫画化も順調に推移しており、当第1四半期累計期間では、新たに9本のWeb連載を開始し、当第1四半期会計期間末のWeb連載漫画本数は42本となりました。特に、当第1四半期会計期間において、新たに連載を開始した作品には『月が導く異世界道中』『異世界転生騒動記』など、最新話の更新日には、1日で1万人超の読者に閲覧されている作品（注）も数多く含まれており、今後の更なる成長の布石を打つことができました。

（注）Web連載漫画『ゲート』の場合、最新話の更新日には、1日で約3.2万人の読者が閲覧しております。

同タイトルを漫画として出版した場合、発行部数は約12万部となります。

③文庫

当社主力書籍『ゲート』のTVアニメ化に伴い、関連書籍の売行きが好調に推移したこと、及び『いい加減な夜食』がシリーズ累計発行部数16万部（平成27年7月31日時点）に達する好調な売れ行きとなったことを主な要因として、当第1四半期累計期間の売上高は前年同期を大きく上回る結果となりました。

④その他

当第1四半期累計期間における刊行点数は、前年同期比6点減となる5点であったことに加え、前第4四半期会計期間において出荷した書籍の返本が多く発生したことにより、当第1四半期累計期間の売上高は前年同期を下回る結果となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期会計期間末の流動資産は、前事業年度末に比べ88,663千円増加し、4,606,389千円となりました。これは主に、売上高の増加に伴い売掛金が増加（前事業年度末比181,820千円増）する一方で、法人税等の支払等に伴い現金及び預金が減少（前事業年度末比123,734千円減）したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ16,260千円増加し、91,100千円となりました。これは主に、無形固定資産が増加（前事業年度末比17,547千円増）したことによるものであり、その主な要因はスマホ用アプリ等のソフトウェアの制作費であります。

② 負債

当第1四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末に比べ27,877千円減少し、1,224,130千円となりました。これは主に、法人税等の支払いに伴い未払法人税等が減少（前事業年度末比103,948千円減）する一方で、売上高の増加に伴い返品調整引当金（前事業年度末比51,459千円増）、及び未払金（前事業年度末比39,399千円増）が増加したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ11,328千円減少し、89,265千円となりました。これは全て、借入金の返済に伴い長期借入金が減少したことによるものであります。

③ 純資産

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ144,129千円増加し、3,384,093千円となりました。これは全て、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、平成27年5月8日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

(注) 業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,475,383	2,351,648
売掛金	1,842,596	2,024,416
製品	121,406	127,135
仕掛品	39,469	64,520
その他	38,870	38,667
流動資産合計	4,517,726	4,606,389
固定資産		
有形固定資産	13,033	12,475
無形固定資産	—	17,547
投資その他の資産	61,806	61,076
固定資産合計	74,839	91,100
資産合計	4,592,565	4,697,489
負債の部		
流動負債		
買掛金	111,468	111,077
1年内返済予定の長期借入金	61,312	56,272
未払金	359,377	398,776
未払法人税等	194,175	90,227
賞与引当金	12,574	30,422
返品調整引当金	433,175	484,634
その他	79,925	52,720
流動負債合計	1,252,008	1,224,130
固定負債		
長期借入金	98,915	87,587
繰延税金負債	1,678	1,678
固定負債合計	100,593	89,265
負債合計	1,352,601	1,313,395
純資産の部		
株主資本		
資本金	863,824	863,824
資本剰余金	853,824	853,824
利益剰余金	1,522,315	1,666,444
株主資本合計	3,239,964	3,384,093
純資産合計	3,239,964	3,384,093
負債純資産合計	4,592,565	4,697,489

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	623,397	783,403
売上原価	188,204	309,912
売上総利益	435,192	473,491
返品調整引当金戻入額	312,814	433,175
返品調整引当金繰入額	342,067	484,634
差引売上総利益	405,939	422,031
販売費及び一般管理費	197,228	217,972
営業利益	208,711	204,059
営業外収益		
受取利息	21	21
中小企業倒産防止共済前納減額金	66	53
営業外収益合計	87	74
営業外費用		
支払利息	445	370
営業外費用合計	445	370
経常利益	208,352	203,763
特別利益		
保険解約返戻金	—	30,593
特別利益合計	—	30,593
税引前四半期純利益	208,352	234,356
法人税等	71,860	90,227
四半期純利益	136,492	144,129

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

当社は、出版事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期累計期間(自平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

当社は、出版事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。